

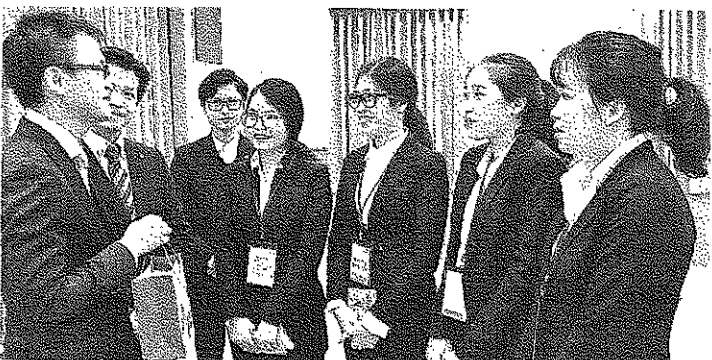
# 葬儀会社で日本文化学ぶ

## ベトナムの学生が就業体験

塩釜市の葬儀会社「ごんきや」が今月から、ベトナム人の大学生をインターンシップ（就業体験）として受け入れている。弔問客の案内や受け付け業務などをこなし、日本の文化やマナーなどを学んでいる。同社によると、葬儀会社の外国人インターンは珍しいという。

極のサービス業」と呼ばれる葬祭業を通して日本文化

を伝えたい」と話している。今月1日には多賀城市内で学生の受け入れ式が行われ、将来的に日本での就職を希望するグエン・タン・ビさん(20)は「お客さんへのあいさつやしぐさなど、優れたサービスを自分のものにしたい」と日本語で抱負を語った。



佐藤社長（左端）の説明を受けるベトナム人の大学生

同社が受け入れた外国人インターンは、ホーチミン市立の工業大外国語学科3年の女子学生4人。来日は

や多賀城、仙台市の同社葬儀場で式場の準備や片付け、弔問客の誘導などを行う。

全員が初めてで、基本的な日本語を理解できるレベルという。就業体験は8月下旬までを予定しており、日本語の勉強をしながら塩釜

将来の人口減を見すえ、同社は今後の外国人労働者の採用を視野に、受け入れ環境やノウハウを蓄積する目的で受け入れを決めた。

佐藤知樹社長は「業界としては外国人の採用は進んでいないが、これからは絶対に必要になるだろう。『究